

2024年度 運転者年間教育計画【貸切・特定・乗合】

2024/3/31(作成)

教育実施期間	教育名	教育項目	教育内容	形態	対象	実施場所	教育者	所要時間
2024/4/4	春の交通安全運動(4/6~15)	春の全国交通安全	国交省関係推進項目の周知徹底	机上	乗務員全員	本社2階会議室	運行管理者	
	新年度安全に関する指針	①バスを運転する心構え	1.バス事業の公共性と重要性 2.バス事故の社会的影響 3.安全運行の心構え	机上	乗務員全員	本社2階会議室	運行管理者	
		④乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項	1.(急)の付く運転はしない 2.カーブ・追越しはゆっくりと 3.安全な速度と十分な車間距離を保つ 4.乗客の状況を確認する 5.シートベルト着用の徹底を図る(目視) 6.走行中の運転への集中	〃	〃	〃	〃	〃
		⑤乗客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項	1.乗降時の安全確保 2.高齢者・障害者の乗降時の安全確保	〃	〃	〃	〃	〃
	事故検証会議①	⑬ドライブレコーダの記録を活用したヒヤリハット体験等の自社内での共有		〃	〃	〃	〃	〃
	◎業務基準評価	自己評価	役職者評価	〃	正社員対象	〃	〃	〃
	◎持株会総会			〃	正社員対象	〃	〃	〃
2024年7月初旬	夏季輸送安全総点検	夏季輸送安全総点検	国交省関係推進項目の周知徹底	車内	乗務員全員	本社2階会議室	運行管理者	4時間
	事故検証会議①	②バス運行の安全、乗客の安全を確保するための遵守すべきこと。	1.バス運行に係る法令 (1)旅客自動車運送事業に係る法令 (2)自動車の運転に係る法令 2.義務を果たさない場合の影響の把握	机上	〃	〃	〃	
		⑥運行路線・経路における道路及び交通の状況	1.運行路線・経路における道路・交通情報の把握(交通事故発生マップ等の活用) 2.情報に基づく安全運行のための留意点	机上	〃	〃	〃	
		⑦危険の予測及び回避及び緊急時における対応方法	1.危険予測運転の必要性 2.危険予測のポイント 3.危険予知訓練 4.指差呼称及び安全呼称 5.緊急時における適切な対応	机上	〃	〃	〃	
		⑬ドライブレコーダの記録を活用したヒヤリハット体験等の自社内での共有		机上	〃	〃	〃	
	①ドライブレコーダーの活用方法		机上	〃	〃	〃		
2024年9月中旬	車両構造の把握	タイヤと車両構造	タイヤの保守及び腐食箇所の確認 非常口や非常停止装置ボタンの使い方の周知	実施	乗務員全員	車庫	整備管理者	3時間
2024年9月中旬	秋の全国交通安全運動	秋の全国交通安全運動	国交省関係推進項目の周知徹底	机上	乗務員全員	本社2階会議室	運行管理者	3時間
		③バスの構造上の特性	1.バスの特性に合わせた運転 2.多様化する車両に合わせた運転	〃	〃	〃	〃	
	⑦危険の予測及び回避及び緊急時における対処法-2	5.火災発生時対応マニュアル 6.その他各種マニュアル ●異常気象時におけるバス輸送の安全確保 ●バスジャック対応マニュアル ●事故遭遇時の遭遇想定訓練 ●非常用信号/非常口/消火器の使用法	〃	〃	〃	〃		
事故検証会議①	⑬ドライブレコーダの記録を活用したヒヤリハット体験等の自社内での共有		机上	〃	〃	〃	〃	
2024年12月中旬	健康診断	通常項目健康診断		診察	乗務員全員	皆成病院	医師	2時間
2024年12月中旬	健康診断	ストレスチェック		チェックシート	乗務員全員	本社1階会議室	運行管理者	1時間
2024年12月中旬	年末・年始輸送安全総点検	年末・年始輸送安全総点検	国交省関係推進項目の周知徹底	机上	乗務員全員	本社2階会議室	運行管理者	6時間
		⑨交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	1.交通事故の生理的・心理的要因 2.過労運転防止のための留意点 3.飲酒や薬物の影響による危険運転防止のための留意点 4.ヒューマンエラーを防ぐために	〃	〃	〃	〃	
		◎労働法を基にした勤務体制の理解		〃	〃	〃	社会保険労務士	
		⑩健康管理の重要性	1.健康起因の事故と健康管理の必要性 2.健康管理のポイント	〃	〃	〃	〃	
		⑧運転者の運転適性に応じた安全運転	1.適性診断の必要性 2.適正診断結果の活用方法	面談	〃	〃	運行管理者	
		⑬ドライブレコーダの記録を活用したヒヤリハット体験等の自社内での共有		机上	〃	〃	〃	
⑫ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転		面談	〃	〃	〃			
2025年1月中	健康診断	SAS・脳ドック検診			乗務員1/3・数名		医療機関	
2025年2月下旬	事故検証会議②	⑬ドライブレコーダの記録を活用したヒヤリハット体験等の自社内での共有 ●事故防止におけるルール策定		机上	乗務員全員	本社2階会議室	運行管理者	4時間
2025年3月中旬	トライアル	⑪安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法	1.運行支援装置に係る事故の事例 2.運行支援装置の性能および留意点 坂道での適切な運転操作(長い下り坂での運転)	車上	乗務員全員	近隣県(群馬・栃木)	運行管理者	10時間
2025年3月中旬	安全運輸マネジメント会議	安全運輸マネジメント委員会		卓上	安全運輸マネジメント委員	本社2階会議室		
2025年3月中旬	安全衛生委員会会議	安全衛生委員会		卓上	安全運輸マネジメント委員	本社2階会議室		
2025年3月中旬	救急救命講習	●普通救命講習		実施	乗務員1/3	深谷消防署	緊急救命講師	4時間

初任運転者指導及び運転実地講習コース

座学にて実施	実地訓練項目	実地訓練コース※ハンドル時間にて計測		訓練時間
①事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項	高速道路	車庫-本庄IC<関越自動車道>軽井沢IC①	②より大井松田IC-本庄IC-車庫	3時間程度
②事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法	坂道	車庫-大胡-赤城(大洞駐車場)-大胡-車庫	①より碓氷峠下り高崎方面へ②	3時間程度
③運行の安全、旅客の安全を確保の為にすべき事項	隘路	車庫-森林公園駅-車庫	車庫-大間々-草木ドライブイン-大間々-車庫	4時間程度
④危険の予測及び回避	市街地	車庫-ARIO-籠原駅北口-深谷・車庫-寄居駅北口-車庫	車庫-妻沼高校-花園トレセン-車庫	8時間程度
⑤安全の向上を図るための装置を備える	夜間走行	車庫-市内-寄居-車庫		2時間程度
⑥ドライブレコーダによる指導・監督		※ハンドル時間にて計測		